

2024年度 メリー★ポピンズ 志木ルーム 事業計画書

1. 基本方針

法人理念…「にんげん力。育てます」

子育て目標…「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」

スローガン「あなたはどうか」 大人も主体性～考え、学び、動く、自律した集団～

2024年度 どんご会グループが目指す園の姿

1. 生活力の体得
2. 10の姿の体得
3. 子ども自らいつでも経験の選択をすることができる物的環境の設定
4. 鶏を絞めて食す 命をいただく活動の実践

法人の理念・子育て目標に基づき、保育園、保護者、地域が相互に関わりながら子どもを育ていく集団を目指す。日々の日課の充実や子ども主体の保育について日々学び続け、保育内容の質の向上をすることで生活力の体得を実現させる。

メリー★ポピンズ 志木ルーム園目標…「子どもの笑顔のために考えらる集団になる」

〈1〉保育内容の充実・質の向上

日々の生活を楽しむ中で、自然と生きる力を身につける子どもを育てるための質の向上を目指す。

1	計画・ねらい	にんげん力の礎となる生活力を身に付ける
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが日課の意義を理解し、子どもに背中をみせて取り組む意欲を育む ・遊びの中に自然と選択や協同の場があり、生活を楽しむ中で自律できる経験を重ねられる環境を構成する
2	計画・ねらい	人とのかかわりの中で協同し、思考力を身に付ける
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びと労働をスタッフが背中伝え、自分でやりぬく力、誰かと協同で取り組む力を育む ・感じたこと、思ったことを傾聴され受け入れられる経験を重ね、人とかかわる喜びを体験できる保育園を目指す
3	計画・ねらい	自ら選び、決定する環境での生活を送り、選択力を身に付ける
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが主体性の意味について理解した上で、自分のすることは自分で決められる環境構成を行う ・スタッフ自身も保育について振り返り、選択を繰り返す中で自立した集団を目指す

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

園のスタッフと子どもの成長を共有し、支え合う子育てを実現できる保護者との関係性を築く。

1	計画・ねらい	安心して預けられる施設づくり
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートを活用したニーズ把握と接遇の向上 ・清潔感があり、整理整頓された保育室の継続 ・園内外のハザードマップの整備と公開
2	計画・ねらい	気軽に相談できる関係性の構築
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムラインやお迎え対応の質の向上 ・園からの率先した保育参加、保護者面談への呼びかけ
3	計画・ねらい	保護者への保育の取り組みの公開
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオなど、保育を可視化して公開 ・日々の連絡帳やタイムラインでの保育の記録

〈3〉 地域の子育て支援事業

メリー★ポピンズ志木ルームを拠点に交流を深め、互いの考え方や意見を共有できる地域との連動

1	計画・ねらい	地域のニーズの把握と開かれた支援の基盤づくり
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や行政の子育て支援施策を把握し、情報収集を行う ・青空保育や戸外活動を活用し、公園利用者や近隣の方の認知度を上げる
2	計画・ねらい	地域の子育て拠点として機能し、積極的に育児相談を受け入れる
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣園を巻き込んだちきんえっぐ行事の実施 ・地域の方が育児相談や子育て拠点として活用しやすい広報活動
3	計画・ねらい	次世代の保育者の育成と、地域全体で行う子育ての発信
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生や中高生ボランティアの積極的な受け入れ ・近隣の保育園、幼稚園、小学校等との継続的な交流

〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

子どもの最善の利益と未来を生き抜く力のために、学び、考え、動き続けるスタッフ

1	計画・ねらい	自分の足で人生を歩む姿を背中で見せられるスタッフの育成
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに生活力や選択力を育むために、スタッフ自身が日常的に自ら考えて行動する経験を重ねる ・自身の学びや取り組みを園内外に発信する機会を作り、お互いに向上できる関係性を更新し続ける
2	計画・ねらい	スタッフ自らの学ぶ意欲の向上
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ一人ひとりが業務や保育における役割を認識し、チームになって動く ・自分に必要な知識、活かせる知識を把握して学びと発信を整理する ・保育所保育指針の理解を深め、10の姿の体得と主体的な保育の実践に必要な知識を得る
3	計画・ねらい	生き生きと働く集団になる
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・プライベートも仕事も切り替えて充実できるように、自身のキャリアプランについて明確化する ・成果だけでなく課題解決までの過程も楽しめるマインドを形成する

〈5〉環境実施目標

園全体で様々なSDGsの取り組みを通じて環境について考え、実践する。

1	計画・ねらい	自給自足に向けた畑活動
	実践予定内容	・畑で収穫した作物を活用した食育活動と給食 ・食糧残渣を減らすための取り組み（堆肥作り、食の循環教育）
2	計画・ねらい	健康的な生活の確保
	実践予定内容	・園内外の緑化活動による環境に配慮した園舎作り ・清潔な園を保ち、心地よい生活エリアを提供する

〈6〉職員間の助け合い・寄り添える協力体制（施設長が力を入れて取り組みたい内容）

1	計画・ねらい	見通しをもった保育の定着
	実践予定内容	・子どもたちの姿をみて、ねらいを持ち保育をする。 ・職員間で子どもの姿を話し合い共有し、継続した保育を行う。
2	計画・ねらい	メリハリのある保育
	実践予定内容	・休憩時間と仕事時間の見える化を行う。 ・報告、連絡、相談をする事で、コミュニケーションを大切にする。

2. 施設運営

〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
3人	6人	6人	6人	6人	6人	33人

〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉スタッフ構成（3月1日時点）

常勤 スタッフ	保育士	6人	看護師	0人	栄養士	1人	調理員等	0人
パート	保育士	4人	補助	0人	調理	0人	事務	0人

スタッフ	用務	0人
------	----	----

3. 運営方針

〈1〉 施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回 20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園内研修、ディスカッション ・ 保育に関わる情報共有
給食運営会議	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食の様子について振り返り ・ 発達に合わせた食具の確認 ・ 在籍児のアレルギー除去確認 ・ 食育計画の進捗確認、振り返り
事故防止委員会	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自園の危険箇所チェックと共有 ・ 他園の事故記録簿の共有 ・ 自園のヒヤリハット・インシデントの分析
ケース会議	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要支援児個別計画の振り返りおよび省察、計画の見直し
週案会議	週1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次週週案内容やねらいについてすり合わせと確認
担任会議	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各クラスの担任を中心に保育における取り組みや課題、今後の予定についてすり合わせと確認を行う

〈2〉 法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営方針共有、運営状況報告、コンピテンシー確認
施設長勉強会	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材育成、保育の質向上についての勉強会
食育会議	年4回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食育マニュアル改善、質向上についての話し合い ・ 系列園の食育への取り組み内容の情報共有
保健会議	年4回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健マニュアル改善、質向上についての話し合い ・ 系列園の保健業務への取り組み内容の情報共有
主任会議	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主任業務についてディスカッション
保育の質を上げる会議	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園の保育の質向上に向けたディスカッション ・ 他園の保育の取り組み共有

〈3〉各種系の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	<ul style="list-style-type: none"> ・園内の汚染区域の衛生管理 ・清掃備品や衛生備品等の管理 ・検便容器配布、回収管理
安全対策係	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練計画立案、実施、振り返り ・安全な物的環境整備、ハザードマップ管理 ・ヒヤリハット、インシデントの管理、活用
防火管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練計画立案実施 ・園内設備の防火管理
食品衛生責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・食品品質衛生管理 ・食育会議の立案、参加 ・食育行事の実施
物品・畑・生き物係	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗備品の管理確認、発注 ・年間農業計画立案、畑管理 ・生物飼育全般管理
お便り、写真係	<ul style="list-style-type: none"> ・どろんこだより、ちきんえっぐだよりの作成 ・保育の様子を撮影した写真の管理

〈4〉行事別系の設置

係名	職務内容・役割
地域担当係	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援活動、ちきんえっぐ、青空保育の実施（場所：中道公園）
世代間交流係	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の高齢者福祉施設、他保育園、小中学校等との連携
大型行事係	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会、どろんこ祭り、生活発表会、卒園式の計画立案実施

4. 保育方針

〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・安定したアタッチメントを行うことで、基本的信頼関係を築く。 ・保育者が安全基地となり、子どもたちが安心して他者への関わりを行えるようにする。 ・多種多様な自然や生き物、地域の人々との関わりを体験する。 ・繊細な乳児の体調変化に気付き、十分にケアする。
------	--------------	---

	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通じて、満足感や自己肯定感が得られる環境を整える。 ・周囲への興味関心を受け止め、体を十分に動かし、丁寧に関わる。 ・基本的な生活習慣の自立に向け、生活リズムの確立や着脱、排せつ等に興味を持ち、自分でやる意欲を尊重する。 ・異年齢児との関わる機会をつくり、人間関係を体験する。
幼児保育	上半期 3～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢保育を主体とし、自分の好きなこと、好きな場所で安心して思う存分遊びこめる環境を整える。 ・基本的な生活習慣の確立に向け、発達状況に応じて丁寧に関わる。
	下半期 2～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的にやりたい遊びを基にグループ活動を行い、異年齢の子ども同士の間わりを通じて挑戦と葛藤を経験し、相手の気持ちを理解し折り合えるようにする。 ・異年齢での活動を通じて、自分の成長を感じながら活動することに喜びを感じられるような間わりを心掛ける。
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、希望する保護者に対し実施 ・「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	・6月21日と11月29日に実施予定

〈2〉年間行事計画

- ・2024年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2024年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	子どもも大人も混ざり合って食べ、自分が食べる量や時間、場所を自己決定し、食べる意欲を育てる
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・給食バイキングの実施 ・子ども自身が食べる場所や時間を選択できる環境づくりの実施
2	計画・ねらい	食事の時間を好きになれるよう、明るく楽しい雰囲気をつくる
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自分自身で食べることを丁寧に見守る ・子どもの苦手な食べ物を把握し、どの様に介助するのかを話し合う ・食事がマナーを教え込む場面だけにならないように配慮する
3	計画・ねらい	命をいただく活動を通じて、食の循環や労働の必要性を学ぶ
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・魚や鶏などの命ある食材に触れ、捌いて食べる経験の実施 ・食材の加工、堆肥の生産と畑仕事への活用

〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年1回（6月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	手洗い、うがい、鼻のかみ方、歯磨き指導
流行が予測される感染症	通年・・・新型コロナウイルス 感染症予防の為のうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 6～8月頃・・・手足口病、ヘルパンギーナ、アデノウイルス、プール熱 12月～3月頃・・・RSウイルス、マイコプラズマ、水疱瘡、インフルエンザウイルス、おたふく風邪 11月～3月頃・・・ウイルス性胃腸炎、溶連菌感染症
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ・・・預かり無し エピペン・・・預かり無し
エピペン使用できるスタッフ	本日現在10名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員は、3月31日までに受講予定
AED使用できるスタッフ（AED設置施設のみ）	AED設置無し
その他保健に関する取組	近隣地域での感染症流行状況の共有 新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防の為、うがい指導・手洗い指導を行い、消毒・換気を徹底する。 感染予防に関する研修(嘔吐処理、おむつ交換手順)

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 （備蓄品点検含む）	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月

	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月 歯科健診 年1回／6月
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	子どもが主体的に遊びを選択できる環境の設定。
	実践予定内容	・散歩先や遊ぶ内容等、活動における選択肢の見える化 ・子ども自身が選択できる室内遊びのゾーン整備 ・一日で完結しない長期的な表現活動の実施
2	計画・ねらい	自然物や生物と日常的に関われる環境の設定。
	実践予定内容	・季節の花、虫や魚の飼育や観察 ・子どもたちが主体となった日課活動
3	計画・ねらい	安全維持の為の衛生管理と安全対策周知の徹底。
	実践予定内容	・保育運営マニュアルの周知徹底 ・ヒヤリハット、インシデントの分析、ハザードマップの活用

〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

手作り遊具・家具一覧

No	遊具・家具名	設置場所	点検予定時期
1	給食室収納棚	給食室	月一

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	避難消火訓練	・毎月火災、地震、水害、通報等の訓練を実施
2	消防署員立会訓練（年1回）	・消防署員立ち会いの元、訓練について助言を頂く。
3	消防設備点検（年2回）	・園内外の消防設備について定期的な点検の実施
4	マニュアルNo.3 危機管理マニュアル設置	・本部の定める危機管理マニュアルの徹底
5	園庭遊具・施設設備安全点検実施（年6回）	・本部の定める遊具や設備点検マニュアルの実施
6	事故防止自主点検実施（年4回）	・本部の定める事故防止点検マニュアルの実施
7	救命救急講習会（年1回）	・年に一度、地域の消防署にて実施される救命救急講習への参加
8	ヒヤリハット報告書・インシデント報告書・事故記録簿の作成（随時）	・怪我には至らなかったが、一歩間違えれば怪我につながるような事例をヒヤリハット報告書へ記入し、共有 ・通院までには至らなかったが、怪我に至ってしまった事例をインシデント報告書へ記入し、再発防止策を共有 ・通院を伴う怪我の事例を事故記録簿へ記入し、再発防止策を共有
9	午睡時「生存確認表」記録	・園専用アプリの「うちのこアプリ」を利用し、午睡時保育者による5分おきのプレスチェックの実施、体位生存確認情報の入力
10	不審者侵入訓練（年2回）	・年に2回、不審者が園内に侵入することを想定した訓練の実施
12	ケガ事故発生時対応フローチャート設置	・本部危機管理マニュアルに基づき、怪我発生時の対応についてはフローチャートに従った手順で実施
13	投薬ルール運用	・薬の受付から投薬、返却に至るまでを保育運営マニュアルに基づいて実施
14	光化学スモッグ発令時の掲示、発令内容に準じた活動	・自治体からの発令をメールや電話で受け次第、必要に応じて戸外活動の制限を実施

6. 実習生・中高生の受入

地域密着型の保育園として、次世代育成の観点から実習生・中学生以上のボランティア・職場体験等の受け入れを積極的に行い、将来の保育福祉の現場で活躍する人材育成に寄与する。

1	実践予定内容	・実習生の積極的な受け入れ
---	--------	---------------

		・実習内容について、事前に実施希望の面談実施
2	実践予定内容	・中学生以上のボランティアや職業体験希望者へ積極的な受け入れ ・地域自治体や学校、園だより等へ希望者受付の案内掲示

7. スタッフ育成と研修計画

新人研修	新人社員研修	スタッフ研修
<ul style="list-style-type: none"> ■入社時オリエンテーション ■現場OJT研修 ■保育品質マニュアル研修 (事務研修・ケガケーススタディ研修含む) ■コンピテンシー研修 <p>保育スキル研修</p>  <p>←お迎え 対応研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■新人社員研修 → 会場研修 → 系列園保育実地研修 	<ul style="list-style-type: none"> ■全社員研修 (年1回) ■園内研修 (月1回以上) ■保育スキル研修 (エリア別) ■リーダー養成研修 (9~2月) ■業務改善研修 (月1回) (=保育の質を上げる会議) ■施設長勉強会 (月1回) ■デンマークインターンシップ (年1回) ■コンピテンシー自己採点 (月1回) ■人権チェック (4月・10月) ■外部研修 ■上級救命救急資格取得講習 <p>←避難訓練研修</p>

〈1〉 2024年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月19日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② 怪我ケーススタディ ③ 日課理解 ④ 虐待防止研修	怪我の事例から、予測・予防についての知識を身に付ける。 日課の意義について学び、スタッフ一人ひとりが必要性を理解して日常に取り入れる。
5月17日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② マニュアル勉強会 ③ 保育環境設定について	法人のマニュアルの理解を深め、自ら判断して行動できる集団を育成する。 緊急時の対応についてスタッフ全員が把握して迅速に対応できるようにする。
6月28日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② 水の事故防止	水遊びの際に起こる事故をヒヤリハットや過去の事例を基に学び、事前に防ぐ体制を整える。
7月19日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② 食育、給食	保育園で実践できる食育の取り組みについて学び、「よく食べよく遊

		③主体性について	ぶ」子を育む。また、スタッフ自身が命をいただくことへの理解を深める。
8月23日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② 園内外事故防止 ③保育の質を上げる会議課題の取り組み	園内外で起こり得る事故を予測する力の向上、事故を起こさないための立ち位置や姿勢について学ぶ。
9月20日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② 環境構成	ゾーン保育についての知識を深め、上半期を振り返りながら環境が現在の子どもたちの発達に適切か、自ら選ぶ環境となっているか見直し設定する。
10月25日	18:30~20:30	コンピテンシー自己採点 下期の振り返り	スタッフ全員が小学1年生について見て学び、理解を深める。また、就学に向け園で必要とされる活動について協議する。
11月22日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② 嘔吐処理対応、感染症	流行する感染症の拡大を防ぐため、感染症の知識、嘔吐処理の正しい処理方法について再確認する。
12月16日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② 保育記録公開	自身の保育の取り組みや成果、過程での学びを記録として公開し、園全体の保育の質の向上に努める。また、他園や地域への公開を目指す。
1月17日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② 今年度振り返り	次年度に向けた準備と計画のために今年度の保育を振り返り、成果と課題について共通認識を持つ。
2月16日	18:00~21:00	① コンピテンシー自己採点 ② 第1回策定会議	当年度の振り返りと次年度の保育についての方向性の協議
3月2日	9:00~18:00	① コンピテンシー自己採点 ② 第2回策定会議	第1回策定会議の方向性を基に、次年度実施する行事や保育について具体的な内容を決定する。

・エリア研修（朝霞、志木地区合同開催）

テーマ：『エリアで学び合う世代別職員研修』

内容：年代別、分野別に分かれて集まり、共通の課題解決や学びを通じて地域全体の保育の質の向上と地域コミュニティの活性化を目指す。

世代別、分野別の意見交換や研修を通じて、より実践に即した保育の力を身に着ける。

他園の職員と相互に学び合う中で、自園の課題を見つけ解決に向かう力を身に着ける。

日程：4月～11月、計8回予定

②「エリア学ぶさくらさくらんぼリズムの共通理解」

内容：講義と実技研修。体を動かしながら共通理解を深めより質の高いさくらさくらんぼリズムを身に付ける。その後、各園に下ろし、職員に伝えて行く。

講師：古川みどりさん

日程：4月～6月で2回開催

時間：18:30～20:00

〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（子育ての質を上げる会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											
全社員研修	9月1日～30日までの間に録画視聴（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定											
デノマークインターソップ	希望するスタッフが応募											

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

〈5〉行政主催研修会への積極的な参加

県内外及び志木市主催の保育研修会等への職員参加を積極的に行い、地域全体の情報交流と活性化を目指す。

8. 地域交流計画

〈1〉今年度方針・テーマ

地域と共に生きる子どもたちに、高齢者、小学校、近隣の保育園、及び各事業所との交流の場を提供し、より多くの人対人コミュニケーションの機会を設ける。

〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回、公園名…中道公園にて実施
商店街ツアー	週1回、地域の商店にて実施
世代間交流	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者との触れ合い（カインドケア志木） ・職場体験学生の受け入れ（志木市社会福祉協議会） ・授業見学、交流会（志木小学校）
異年齢交流	小学校、中学校、近隣保育園、福祉施設への訪問
地域拠点活動	ボランティアによる読み聞かせ（志木市読み聞かせ）
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉

9. 小学校との連携の計画

〈1〉今年度方針・テーマ

以下計画について、小学校との相談、協議を進めていく。

志木小学校を中心に連携を進め、他校とも交渉し連携可能な小学校との交流を図る。

〈2〉具体的な連携計画

以下計画について、小学校と相談・協議を6月1日（木）より開始する。

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動計画(会場)	目的
8月頃	志木小学校	2名予定	接続研修会	職員間交流
9月頃	志木小学校 全学年	6名予定	運動会見学	子ども間交流
10月頃	志木小学校 1年	6名予定	いろはふれあい祭り 作品展	子ども間交流
12月頃	志木小学校	2名予定	接続研修会	職員間交流
1月頃	志木小学校 1年	6名予定	授業見学	子ども間交流
2月頃	志木小学校	2名予定	接続研修会	職員間交流

10. 要支援児計画

〈1〉 個別支援計画の作成・見直し

個別支援計画の作成

該当者があれば以下の対応を実施する。

〈2〉 毎月のケース会議開催

(4～3月に計12回開催予定 参加者：8名予定)

会議内容を基に保護者面談をニーズに応じて年3～4回実施し、共通理解を深める。

子どもの姿を共有し、児の対応を統一することで成長につなげていく。

〈3〉 進級引継、および、小学校への引継

会議内容を基に保護者面談を年3～4実施し、共通理解を深める。行政の幼保小連携協議会等の会議に参加し、情報共有を行う。引継ぎを行う各小学校へ送る児童要録への記入内容を園全体で協議の上担当が作成する。

11. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30
自然食堂…親子ランチ交流	毎月各2回 10:00～12:00
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	毎月各1回 10:00～12:00
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育	月1回、公園名：直路交通公園にて開催

12. 園運営の向上

〈1〉 福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

〈2〉 園による自己評価の実施

2024年8月30日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：12時30分

自己評価終了予定時刻：14時30分

自己評価実施予定者：施設長、主任、代表保育士1名

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

1.3.3 3カ年計画の具体化

〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・生きる力を育む主体的な保育の様子を、ドキュメンテーションや保育参加を通じて保護者の方々や地域などへ共有する。 ・今年度までの保育や記録公開の実践をもって、保育者一人ひとりが自分の保育に自信が持てるようにする。
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・生きる力を育む主体的な保育というものがどういうものを振り返ることから始め、これまで取り組んできた保育の良さを残しながら主体性について学びを深めた。同時に子どもと大人それぞれの主体性についてスタッフ間で話し合いを重ねて、個々のスキルのブラッシュアップを図った。 ・保育の見直しに伴い、園内の環境についても見直しを重ね、子どもが自分で選んで生活することに重点を置いて環境を見直し、改善していった。まだ改善途中ではあるが、スタッフの挑戦する意欲、学ぶ意欲の向上が見られた。

〈2〉当年度以降の3カ年計画

2024年度	目指す姿	生活力、思考力、選択力を育む主体的な保育の定着
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの力の育み方についてスタッフが共通の理解と認識をもち、基盤を作り上げ、チームとなって行動し、定着させる。 ・保護者に自分たちの保育の取り組みを公開し、共に子どもを育てる環境を整えていく。
2025年度	目指す姿	主体的な保育を地域にも発信し、選ばれ愛される園の礎を作る。
	重点施策	・自分たちの保育や地域への取り組みを外部に向けて公開していく体制を整え、地域全体を巻き込んで保育を行っていく。
2026年度	目指す姿	主体的な保育や子育て支援の最前線に立ち、新しいことに挑戦し続ける園を目指す。
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・積み重ねてきた保育の基盤を大切にしつつ、日々子どもにとって必要なものを追求し続け、新しいことに挑戦する意欲を持ったスタッフを育成する。 ・スタッフ一人ひとりの新しい取り組みが地域にも展開され、地域全体で子どもを育てる場を作っていく。

以上

作成日：2024年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ 志木ルーム 施設長 鈴木 小春